



東中学校 学校だより



12月号(令和6年12月10日発行) 学校HP

TEL 042-471-2765 FAX 042-472-7995

人権週間

校長 中川 義弘

例年より暖かい日が続きましたが、12月に入って着実に冬の寒気が日本列島に訪れてくるようになりました。寒く乾燥する日が続くと、風邪やインフルエンザが流行してきます。都内では例年より小児のマイコプラズマ肺炎や手足口病の流行が広まっているようです。2学期もあとわずか、感染予防を心がけたいものです。東中の生徒たちは、昼休みに全校生徒が校庭で体育委員会主催の体力向上キャンペーンに取り組んでいます。

さて、12月10日は「人権デー」です。国連の総会で「世界人権宣言」が採択された日です。そして12月4日～10日は人権週間です。現在も様々な人権課題があります。いじめや虐待、性被害、インターネット上の人権侵害、アイヌの人々、性的マイノリティ等に対する不当な差別や偏見、同和問題など。私たちは互いの人権を尊重し合える社会を作っていくことが大切です。先日、朝礼でハンセン病問題について話しました。以下、その抜粋です。

『東村山市に全生園^{ぜんしょうえん}というハンセン病の療養施設があります。全国に13か所ある療養施設の1つです。ハンセン病は皮膚と末梢神経が侵される病気で、治療せずに病気が進行すると、手足や顔などに運動障害や変形が表れ、日常生活に支障をきたします。現在日本では病気を発症する人は、年に数人で、薬による治療だけで直すことができ、入院する必要もなく、仕事や通学をしながら治療できる病気です。

ところが、1907年、当時は効果的な治療法がなかったこともあり、一部の患者を療養所に隔離する法律が定められました。その後、1931年、昭和6年には、全てのハンセン病患者を強制的に隔離する法律(らい予防法)が改正されました。ハンセン病は恐ろしい伝染病という危険性を過度に強調してハンセン病に対する偏見を国民に植え付けることになりました。患者の家族まで差別や排除の対象となり、離婚や失業、自殺に追い込まれることもあったそうです。療養所では、囚人のような扱いを受け、患者が病気を治して社会に戻っていくための施設ではなく、囚人同様の待遇で亡くなるまで隔離された場所でした。戦後、薬が開発されハンセン病は治る病気になってからも、強制隔離は、50年以上たった1996年、平成8年に「らい予防法」が廃止されるまで続きました。そして、今もハンセン病に対する差別や偏見が続いているといわれます。(ドリアン助川さんの小説「あん」や小説をもとに映画化された樹木希林さん主演の映画「あん」の中で、ハンセン病で隔離された主人公が描かれています。)

国の政策によって偏見や差別が続いてきましたが、このような偏見や差別は、みんなの心の中に潜んでいるのかもしれない。少し前にも新型コロナウイルス関連の差別や偏見が問題になりました。感染症だけではなく、あの人は変、変わっている、気に入らない、などの感情で、人を差別したり、偏見を持ったり避けたりして、その人の人権(みんなが持っている安心して楽しく生きる権利)を奪ってはいけません。みんなが周りの人の人権を大切にすることが第一歩です。みんなが安心して過ごせる学校(社会)をつくるために行動してください。』

〇9 組・社会科見学

11月7日(木)に9組の社会科見学が行われました。当日は天気にも恵まれ、NHK 放送博物館と東京タワーを見学してきました。NHK 放送博物館では体験コーナーが人気で、天気予報やニュース原稿をアナウンサーのように読み上げていました。東京タワーからの眺めも最高でした。芝公園では謎解きをしながら散策しました。



〇2 学年・校外学習 (都内巡り)

11月22日(金)、2年生は校外学習で都内巡りをしてきました。中学校で2回目の班行動の今回は、浅草雷門でチェックをして、国立科学博物館やオリンピックミュージアムなど、各班が計画したコースを見学しました。天気にも恵まれ、秋の都内巡りを通して、班で協力し、修学旅行につながる成果を得られました。事後学習にもしっかり取り組んでいました。



〇1 学年・校外学習 (川越)

11月26日(火)、1年生は中学校で初めての校外学習で川越に行って来ました。川越祭り会館と喜多院でのチェックポイント以外は班で考えたコースを見学しました。蔵造の街並みや氷川神社、熊野神社、連馨寺などの寺社、菓子屋横丁など、トラブルや事故もなく、無事班行動を行えました。事後学習をして、次はスキー移動教室に向けての取組が始まります。



〇3 学年・面接練習

11月29日(金)から3年生は面接練習が始まっています。入試に面接試験があるなしに関わらず、全員が校長・副校長との面接練習を行います。皆、緊張した様子で、志望理由や将来の目標などを答えています。最後の三者面談も12月6日(金)に終わり、進路先決定に向けて着々と準備が進められています。



〇保護者の皆様へ

教育活動に関するアンケート・三者面談にご協力いただきありがとうございました。お陰様でアンケートには76%の保護者の方からご回答をいただきました。貴重なご意見を今後の学校運営に活かして参ります。また、三者面談では、お子様と今学期の成長や今後の生活に向けて確認する時間となりました。今後も、お子様のよりよい成長につながるよう保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。